

【羊ヶ丘病院の“今”をお知らせ】



第25回 整形外科疾患セミナーを開催しました

NEWS

整骨院・治療院の先生を対象に、当院で開催している「整形外科疾患セミナー」。

2014年12月11日（木）20時よりホテルエミシアで開催された第25回目は、66名の方にご出席頂きました。

今回の勉強会は2部構成で、第1部は理事長 倉 秀治より「変形性膝関節症の病態と治療」についての講演、第2部はリハビリテーション科 第2科長 佐々木 和広より「変形性膝関節症の保存療法と術後リハビリ」についてお話ししました。

倉理事長の冒頭のご挨拶では、「いつも患者様をご紹介頂き有難うございます。先生方の大切な患者様をお預かりしています。しっかり治療して患者様をお返すことをモットーに行っていますので、来年もどうぞよろしくお願い致します」と日頃の感謝の念をお伝えしました。

その後、第1部の講演が始まりました。

「変形性膝関節症」は、加齢やケガ、炎症によって関節軟骨がすり減ったり、なくなった状態で、痛みが生じたり可動域制限が起きる疾患です。軟骨は血流や細胞成分、神経が乏しいために自己修復能力が乏しく、一旦傷がついてしまうと治ることはありませんので、自然に治癒することは期待できません。

勉強会では、レントゲンの撮影方法によっては診断が大きく変わってしまうということ、軟骨や半月板の損傷を実際の動画を見ながら説明するとともに、変形性膝関節症の進行を遅らせるためにリハビリが大切であること、その他保存療法や手術療法について等、多岐にわたりご説明しました。

その後、第2部の佐々木第2科長の講演が始まりました。

「保存のため・術後のためのリハビリの共通のポイント」「鏡視下半月板手術後のリハビリの注意点」「人工膝関節術後のリハビリの注意点」についてお話がなされました。

ご出席者の皆さんは、倉理事長、佐々木科長の講話にうなずき、メモをとりながら、真剣に耳を傾けていらっしゃいました。質疑応答も活発になされ、実りある勉強会となりました。

勉強会終了後には懇親会も開催され、岡村健司病院長も今年の御礼を申し上げたいと駆けつけました。

ご出席頂きました治療院・整骨院の先生方、誠に有難うございました。来年もどうぞよろしくお願い致します。



受付



司会を務めるリハビリテーション 山崎第一科長



倉理事長より冒頭のご挨拶



第1部 倉理事長の講演①



倉理事長の講演②



第2部 佐々木第2科長の講演



ご出席者からのご質問



質問にお答える佐々木科長



懇親会でお礼を伝える岡村病院長



懇親会



参加者の方と懇親を深める倉理事長



参加者の方からご相談を受ける岡村病院長